

Title of the Device:

Check Valve for Pump

What is claimed is:

A check valve for a pump disposed in a discharging passage of the pump characterized in that a relief groove for absorbing a strain of a valve seat caused by its press fitting is formed at least in a substantial middle part of a press fitting surface of the valve seat press fitted into a valve housing of said check valve.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-6166

(43)公開日 平成5年(1993)1月29日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
F 0 4 B 21/02	J	2125-3H		
F 1 6 K 15/02		8512-311		

審査請求 未請求 請求項の数 1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平3-58924

(71)出願人 000167406

株式会社アツギユニシア

神奈川県厚木市恩名1370番地

(22)出願日 平成3年(1991)7月2日

(72)考案者 久原 啓司

神奈川県厚木市恩名1370番地 株式会社アツギユニシア内

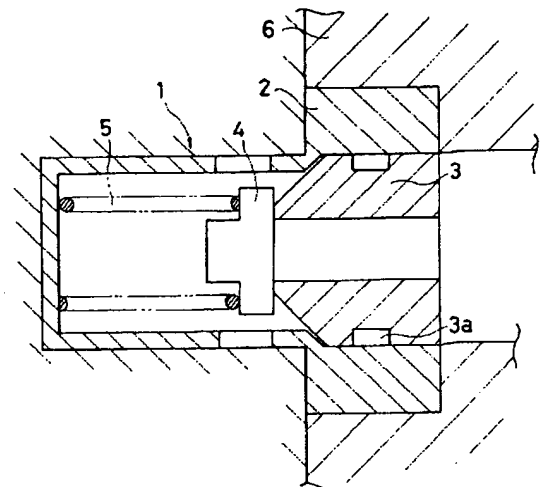
(74)代理人 弁理士 青木 輝夫

(54)【考案の名称】 ポンプのチェックバルブ

(57)【要約】

【目的】 ポンプのチェックバルブをポンプハウジング内の吐出通路に圧入してもバルブシートの変形等を生じることなくバルブ機能を向上できるようにしたチェックバルブを得るにある。

【構成】 バルブハウジング2に圧入されるバルブシート3の圧入面のほぼ中間部に、バルブシートの圧入による歪みを吸収する環状の逃げ溝3aを形成した。



- 1 チェックバルブ
- 2 バルブハウジング
- 3 バルブシート
- 3a 逃げ溝
- 4 バルブ
- 6 ポンプハウジング

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ポンプの吐出通路に配設されるチェックバルブにおいて、上記チェックバルブのバルブハウジングに圧入されるバルブシートの圧入面の少なくともほぼ中間部に、バルブシートの圧入による歪みを吸収する逃げ溝を形成したことを特徴とするポンプのチェックバルブ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第1の実施例であるチェックバルブを示す断面図。

【図2】 第2の実施例であるチェックバルブを示す断面図。

【図3】 第3の実施例であるチェックバルブを示す断面図。

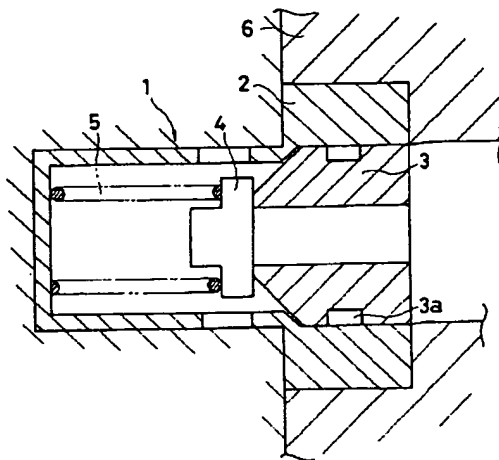
【図4】 ラジアルプランジャポンプの構造を示す断面図。

【図5】 従来構造のチェックバルブを示す断面図。

【符号の説明】

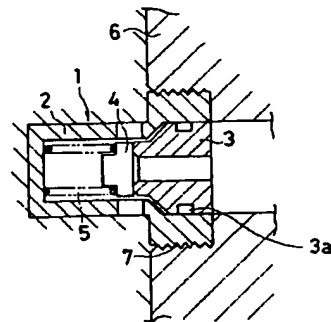
- 1 チェックバルブ
- 2 バルブハウジング
- 3 バルブシート
- 3a 逃げ溝
- 4 バルブ
- 6 ポンプハウジング

【図1】

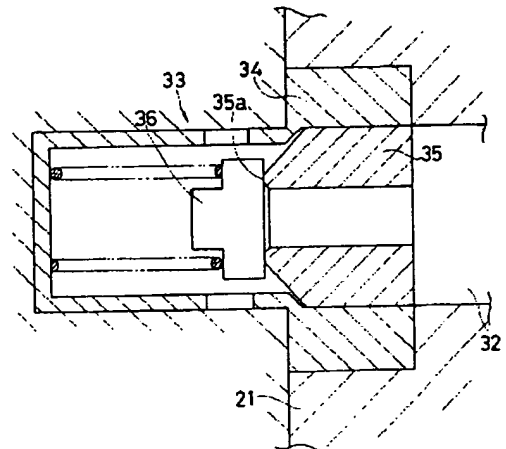


- 1 チェックバルブ
- 2 バルブハウジング
- 3 バルブシート
- 3a 逃げ溝
- 4 バルブ
- 6 ポンプハウジング

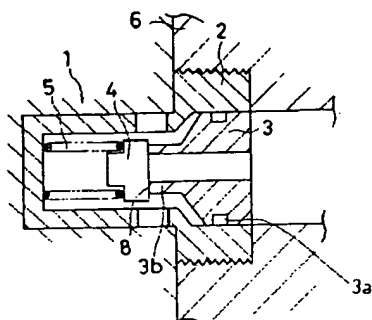
【図2】



【図5】



【図3】



【図4】

